

基本

4ページ～

応用

10ページ～

その他

19ページ～

ビデオカセット レコーダー Hi8

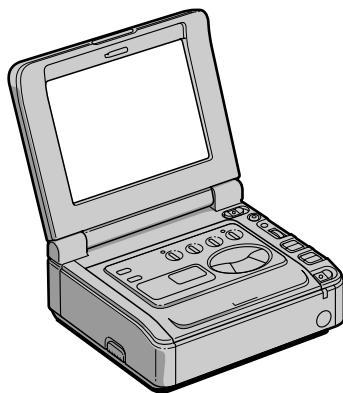
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



VIDEO
WALKMAN

GV-A700

必ずお読みください

別売りのアクセサリーキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカセットレコーダーやテープなどの不具合により録画がされなかった場合、録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

別売りアクセサリーについて

テレビチューナーユニットTGV-100：本機に取り付けると、本機で簡単にテレビ番組を見たり録画したりすることができます。

ビデオ／コンピューターインターフェースCI-100：本機に取り付けてコンピューターに接続すると、VISCA*プロトコル対応のアプリケーションソフト（別売り）で本機を制御することができます。

* VISCAはソニービデオシステム・コントロール・アーキテクチャーの略です。

目次

基本

準備1 電源をつなぐ	4
準備2 カセットを入れる	5
再生する	6
いろいろな再生	7
ステレオ放送や、二重音声放送を録画したテープを 再生する	8
ワイド録画した画像を見る	9

応用

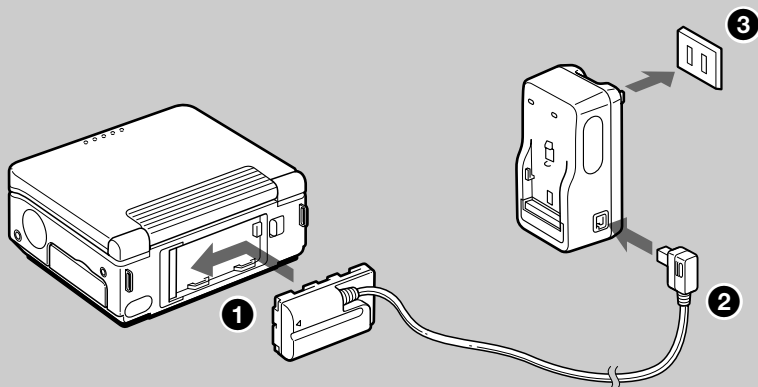
テレビで見る	10
ケーブルを使わずに見るーLASER AVLINK	11
他のビデオへ録画する	12
ビデオやテレビの画像を録画する	13
各種の設定を変えるーメニュー	14
液晶画面の色あい・色のこさを調節する	17
屋外で使う	18
バッテリーで使う	18
自動車内で使う	18

その他

使えるビデオカセットと記録・再生方式	19
"インフォリチウム"バッテリーを ご利用いただくために	20
各部のなまえ	21
故障かな?と思ったら	24
警告表示とお知らせメッセージ	26
自己診断表示ーアルファベットで始まる 表示が出たら	27
お手入れ	28
主な仕様	30
保証書とアフターサービス	31
海外で使うとき	31
索引	裏表紙

準備1 電源をつなぐ

ここではACパワーアダプターAC-V615Aを使った例を説明します。
別売りのACパワーアダプターの取扱説明書もあわせてご覧ください。



ご注意

- 接続コードを引っばらないようにしてください。プラグがコンセントから抜けることがあります。
- 本機をACパワーアダプターに近づけすぎないでください。画面にノイズが出ることがあります。

屋外では

バッテリーや自動車の電源を使います。

→18ページ

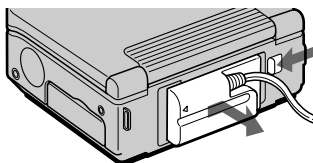
① 接続プレートを押しながら、左にずらす。

② 接続コードを差し込む。

③ コンセントにつなぐ。

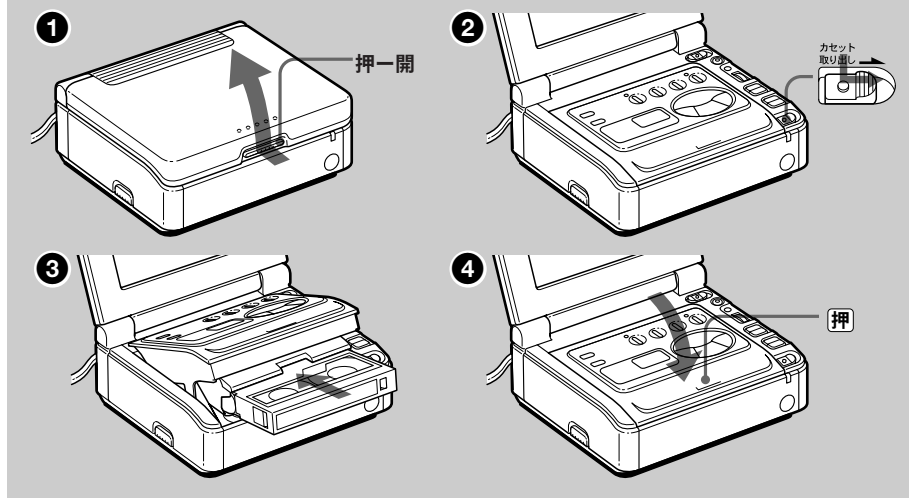
接続プレートをはずすとき

バッテリー取りはずしツマミを押しながら、右にずらす。



準備2 カセットを入れる

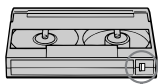
Hi8（ハイエイト）テープ**Hi8**とスタンダード**8**ミリテープが使えます。
Hi8方式で録画するときはHi8テープを使います。



ご注意

- カセットぶたが開いているときに、カセット入れに指を入れたり中を触ったりしないでください。故障の原因になります。
- カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防
止ツマミを横にずらして
「赤」にします。



① 押一開ボタンを押しながら、液晶パネルを開く。

② カセット取出しツマミの青のボタンを押しながら、右にずらす。

カセット入れが自動的に開く。

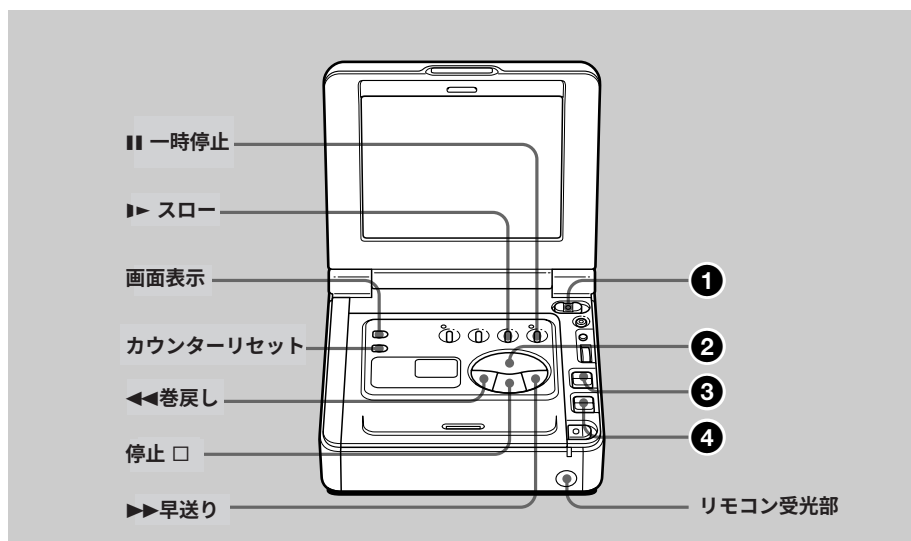
③ テープ窓を上側にして入れる。

④ 押マークを押して、カセットぶたを閉める。

カセットを取り出すとき

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

再生する



ご注意

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。(有効画素99.99%以上) これらの点は、テープに記録されません。
- 液晶画面を太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 外国製のビデオソフトの中には、カラーテレビ方式が異なるため本機では再生できないものがあります。

画面表示を出すには

画面表示ボタンを押します。消すときは、もう一度押します。

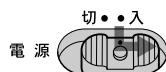
テープカウンターを「0:00:

00」にするには

カウンターリセットボタンを押します。

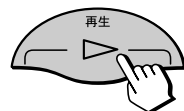
1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「入」にする。

本体前面の電源ランプ（緑）が点灯する。



2 ▷再生ボタンを押す。

再生が始まる。



3 明るさを調節する。

画面明るさ



明るくなる

暗くなる

4 音量を調節する。

音量



大きくなる

小さくなる

一時停止（静止画）について
5分以上続けると自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度▷再生ボタンを押します。

スロー再生について
1分以上続けると自動的にふつうの再生に戻ります。

変速再生中は
音声は出ません。

リモコンも使えます
ソニーの8ミリビデオカメラレコーダー用のリモコンで操作することもできます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ヘッドホンで音を聞くには
ヘッドホン（別売り）をⓂ（ヘッドホン）端子につなぎます。音量+／-ボタンで音量調節ができます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーから音は出ません。

* クリスタルスチル/クリスタルピクチャーサーチ/クリスタルスローでは液晶画面でのノイズを軽減します。

いろいろな再生

止める

[再生中] に□停止ボタンを押す。

静止画を見る（クリスタルスチル*）

[再生中] に■一時停止ボタンを押す。一時停止ランプ（オレンジ）が点灯する。

もう一度押すか、▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[再生中] に□停止ボタンを押し、▶▶早送りボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[再生中] に□停止ボタンを押し、◀◀巻き戻しボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする（クリスタルピクチャーサーチ*）

[再生中] に▶▶早送りボタン/◀◀巻き戻しボタンを押し続ける。

離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

[早送り中] または [巻き戻し中] に▶▶早送りボタン/◀◀巻き戻しボタンを押し続ける。

離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る（クリスタルスロー*）

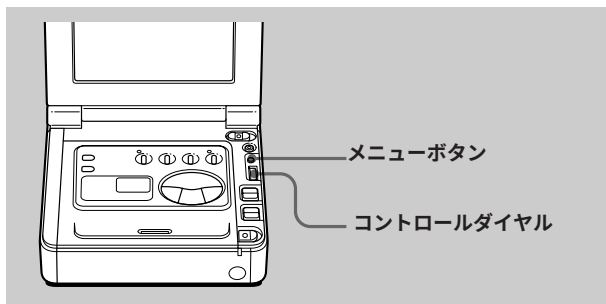
[再生中] に▶スローボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

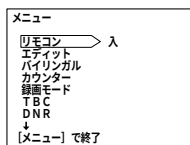
再生する (つづき)

ステレオ放送や、二重音声放送を録画したテープを再生する

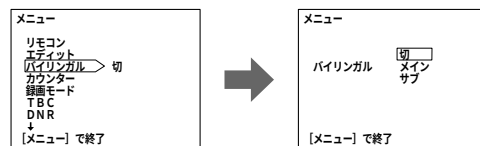
AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声放送を記録したテープを再生するときは、メニューの「バイリンガル」を設定して、音声を選んでください。



① メニューボタンを押してメニュー画面を出す。



② コントロールダイヤルを回して「バイリンガル」を選び、ダイヤルを押す。



- ③ コントロールダイヤルを回し、音声を選んで、ダイヤルを押す。

「バイリンガル」の設定	聞こえる音声	
	ステレオ放送を記録したテープ	二重音声放送を記録したテープ
「切」	ステレオ音声	主音声+副音声
「メイン」	モノラル音声	主音声
「サブ」	不自然な音声になります	副音声

- ④ メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

ワイド録画した画像を再生するとき

- 「パネルワイドPB」が「切」になっていると、縦長の画像になります。
- 映像、音声入／出力端子から出力される画像は、「パネルワイドPB」の設定にかかわらず縦長になります。

ワイド録画されていない画像を再生するときは

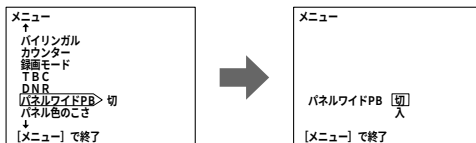
「パネルワイドPB」を「切」にしてください。「入」だと横長の画像になります。

ワイド録画した画像を見る

ビデオカメラのワイドTVモードで撮影した画像を見るときは、メニューの「パネルワイドPB」を設定してください。

- ① メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

- ② コントロールダイヤルを回して「パネルワイドPB」を選び、ダイヤルを押す。



- ③ コントロールダイヤルを回して「入」を選び、ダイヤルを押す。

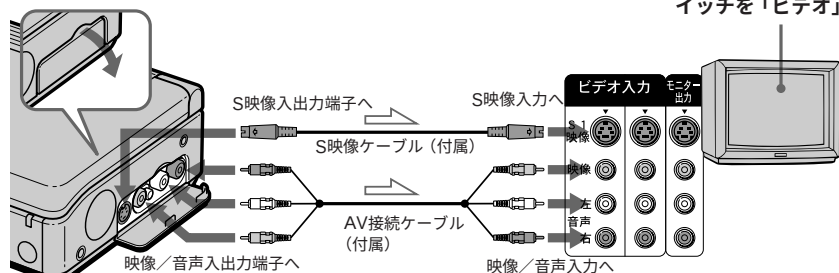
- ④ メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

テレビで見る

本機を付属のS映像ケーブルやAV接続ケーブルでテレビにつなぐと、ビデオの再生をテレビ画面でたのしめます。接続ケーブルのプラグを本機やテレビの同色の端子につなぎます。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。本機の音量は最小にしてください。

ジャックカバーを開ける



⇒：信号の流れ

テレビにS映像端子がついている場合、S映像端子を使うと再生画像がより鮮明になります。

(S映像端子と接続したときはAV接続ケーブルの黄色い映像端子は接続不要です。)

テレビ画面にカウンターなどの表示を出すには

メニューで「画面表示」を「ビデオ出力/パネル」にし、画面表示ボタンを押します。消すときはもう一度押します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力 (ライン)」にしてください。

音声入力端子がひとつ (モノラル) のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル (付属) の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぐ。(本機側も赤いプラグは接続不要です。)

音声はモノラルです。

映像/音声入力端子のないテレビにつなぐとき

別売りのRFUアダプターでつなぐ。

テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。音声はモノラルです。

LASER AVLINK (レーザーエイビリンク) とは

㏐マークのあるLASER AVLINK対応の機器間で赤外線による映像と音声の送受信をおこなうシステムです。LASER AVLINK はソニー株式会社の商標です。

ソニー製のテレビの場合は

- 電源について
本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定して、テレビの主電源を入れておくと、下記の2つの方法で自動的にテレビの電源を入れられます。
-LASER AVLINK発光部をテレビのリモコン受光部に向けて、LASER AVLINK ボタンを押す。
-LASER AVLINKボタンを点灯させて、▶再生ボタンを押す。
- 入力について
本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定し、「TV入力切りかえ」をIRレシーバーをつないだテレビの入力端子(ビデオ1/2/3)と同じに設定すると、テレビの入力も自動的に切り換わります。(テレビによっては、切り換わる時に一瞬画像や音声がとぎれることがあります。)
- 機種によっては、操作できないことがあります。

本機の電源スイッチを「切」にすると

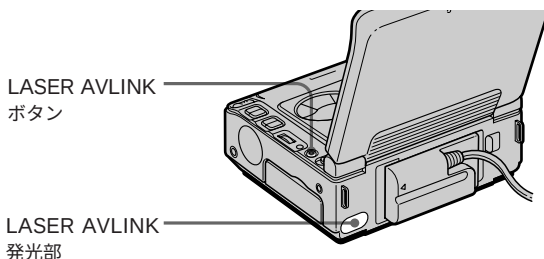
LASER AVLINKが自動的に解除されます。

レーザーAVリンクを使うとバッテリーの使用時間が短くなりますので、使わないときは、LASER AVLINKボタンを押してランプを消しておいてください。

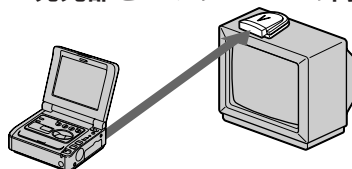
ケーブルを使わずに見る-LASER AVLINK

別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでおくと、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで見られます。

詳しくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧ください。



- ① テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシーバーの電源を入れる。
- ② テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする
- ③ LASER AVLINKボタンを押す。
ボタンのランプ(赤)が点灯する。
- ④ LASER AVLINK発光部とIRレシーバーの向きを合わせる。



- ⑤ ▶再生ボタンを押す。
再生が始まる。

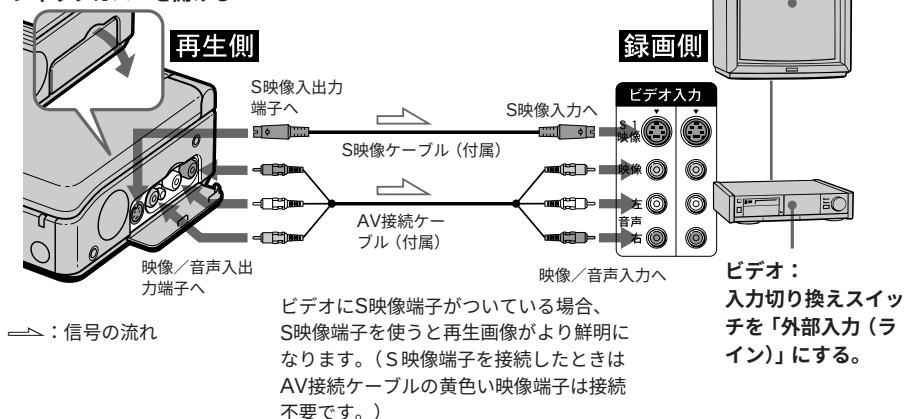
LASER AVLINKを解除する

LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを消す。

他のビデオへ録画する

本機を再生機、他のビデオを録画機として使い、ダビング・編集ができます。

ジャックカバーを開ける



カウンターなど画面表示を出しているときは録画側のテープに記録されます。表示を消しておくことをおすすめします。

相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。

⑩, Hi8, VHS, VHS-C, SVHS, SVHS-C, ⑪

音声入力端子がひとつ (モノラル) のビデオにつなぐときはAV接続ケーブル (付属) の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぎます。(赤いプラグはどちらにもつながないでください。) 音声はモノラルです。

ファインシンクロエディット対応本機を再生機として、ファインシンクロエディット機能を持つビデオデッキと本機のLANC②端子 (22ページ) をLANCケーブル (別売り) でつなげば、より精度の高い編集ができます。

① 本機に録画済みのカセットを、他のビデオに録画用のカセットを入れる。

② 本機の電源を入れる。

③ メニューで「エディット」を「入」にする。(14ページ)

④ 本機のカセットを再生し、他のビデオに録画したい場面で■一時停止ボタンを押す。

⑤ 録画機を録画一時停止にする。

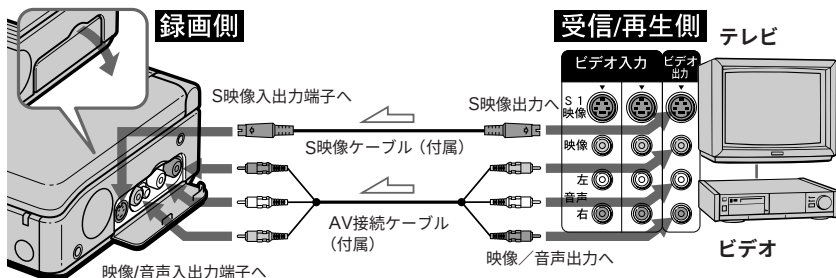
⑥ 本機と録画機の■一時停止ボタンを同時に押す。

ダビング・編集が終わったら、メニューで「エディット」を「切」にする。

ビデオやテレビの画像を録画する

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

ジャックカバーを開ける



→：信号の流れ

ビデオやテレビにS映像端子がついている場合、S映像ケーブルをつなぐと、録画画像がより鮮明になります。S映像端子がない場合、本機にS映像ケーブルはつながないでください。

ご注意

- 本機の音量は最小にしておいてください。画像が乱れることがあります。
- 本機では二重音声放送は録画できません。
- メニューの「画面表示」が「ビデオ出力/パネル」でカウンターなどを画面表示しているときは、映像が出ません。「パネル」に切り換えてください。
- 著作権保護のための信号が記録されている画像は、本機では録画できません。

音声出力端子がひとつ（モノラル）のビデオにつなぐときはAV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグを音声出力へつなぎます。（赤いプラグはどちらにもつながないでください。）音声はモノラルです。

テープの最初から録画するときは15秒ほど録画してから本番の録画をすることをおすすめします。テープの最初から録画すると、他の再生機では初めの部分が欠けることがあります。

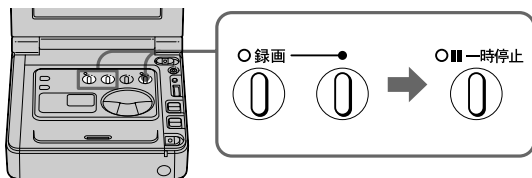
1 本機に録画用のカセットを、他のビデオに録画済みのカセットを入れる。

2 本機の電源を入れる。

ビデオやテレビの画像が液晶画面に出る。

3 本機を録画一時停止にする。

録画ボタンを2つ同時に押し、すぐにII一時停止ボタンを押す。録画ランプ（赤）と一時停止ランプ（オレンジ）が点灯する。



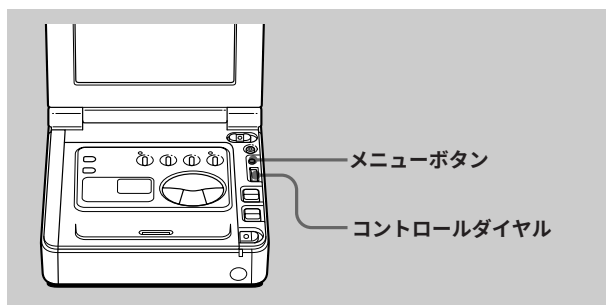
4 他のビデオで再生を始める。

または録画したいテレビ番組を受信する。

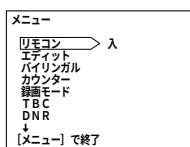
5 録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。

一時停止ランプが消え、録画が始まる。

各種の設定を変える-メニュー

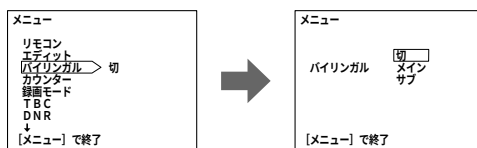


① メニューボタンを押す。

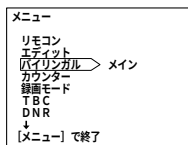


② コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。

希望の項目だけが表示される。



③ コントロールダイヤルを回して設定を切り換え、ダイヤルを押す。



④ 必要なだけ手順2、3を繰り返す。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明 お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

項目	設定	意味	どんなとき
リモコン	●入	別売りのワイヤレスリモコンが働く	通常はこの位置へ
	切	リモコンが働かない	他機のリモコンによって誤動作するときなど
エディット	●切	—	通常は必ずこの位置へ
	入	編集時の画質劣化を低減	ダビング・編集で本機を再生機として使うとき
バイリンガル	●切	ステレオ音声または主+副音声で再生	→詳しくは8ページ
	メイン	モノラル音声または主音声で再生	→詳しくは8ページ
	サブ	副音声で再生	→詳しくは8ページ
カウンター	●ノーマル	通常のカウンターを表示する。	通常はこの位置へ
	タイムコード	1コマ1コマの映像に対応したテープの位置をカウンターとして表示する（RCタイムコード）。	より正確な編集をしたいとき
録画モード	●SP	SP（標準）モードで録画する。	通常はこの位置へ
	LP	SPモードの2倍の録画時間で録画する。	長時間録画したいとき
TBC	●入	再生時の画面の横ゆれを補正	通常はこの位置へ
	切	—	画面が乱れるとき（補正をやめると直ることがあります）
DNR	●入	再生画の色ノイズを軽減	通常はこの位置へ
	切	—	動きの激しい画像で残像が目立つとき
パネルワイドPB	●切	—	通常はこの位置へ
	入	ワイドモードで撮影した画像を液晶画面に適した画像にする。	ワイドモードで撮影したテープを見るとき

LPモードについて

本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。他のビデオデッキやビデオカメラレコーダーで再生すると、映像や音声にノイズが出ることがあります。他のビデオデッキやビデオカメラレコーダーの

LPモードで録画したテープを本機で再生する場合も同様です。

次のようなテープを再生するときは、「TBC」を「切」にしてください。

- ・ダビングなどを繰り返した
- ・ゲーム機の信号などを記録した

各種の設定を変えるメニュー（つづき）

項目	設定	意味	どんなとき
パネル 色のこさ		液晶画面の色のこさを調節	→詳しくは17ページ
パネル 色あい		液晶画面の色あいを調節	→詳しくは17ページ
おしらせ ブザー	●入	電源を入れたり、誤った操作をしたときなどにブザーが鳴る	通常はこの位置へ
	切	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき
画面表示	●パネル	画面表示ボタンを押したときに画面表示を液晶画面に出す。	通常はこの位置へ
	ビデオ出力 ／パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	テレビで見るときに画面表示を出したいとき
オートTVオン	●切	－	→詳しくは11ページ
	入	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にテレビの電源を入れる。	→詳しくは11ページ
TV入力切り かえ	●ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にテレビの入力を切り換える（「オートTVオン」が「入」のときのみ）。	→詳しくは11ページ
	切	テレビの入力切り換えをしない。	→詳しくは11ページ

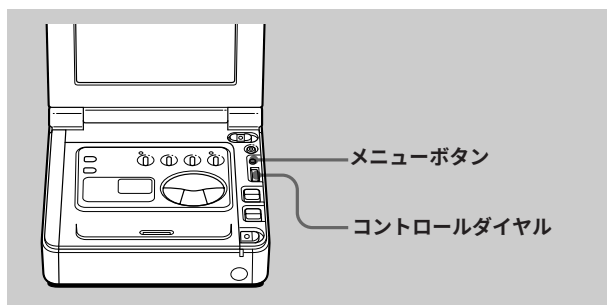
ご注意

- 「エディット」、「バイリンガル」、「TBC」、「DNR」、「パネルワイドPB」は、再生時のみ働く機能です。
- 「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力できなくなります。

電源をはずして5分以上たつと

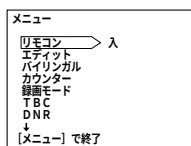
以下のメニュー項目はお買い上げ時の設定に戻ります。
「リモコン」、「エディット」、「バイリンガル」
その他のメニュー項目では電源をはずしても設定を保持しています。

液晶画面の色あい・色のこさを調節する

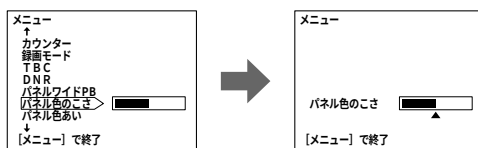


応
用

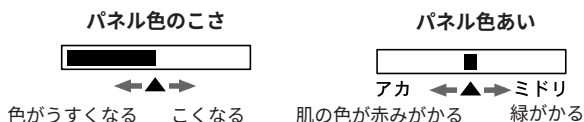
- 1 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。



- 2 コントロールダイヤルを回して「パネル色のこさ」または「パネル色あい」を選び、ダイヤルを押す。



- 3 コントロールダイヤルを回して「パネル色のこさ」または「パネル色あい」を調節し、ダイヤルを押す。



- 4 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

屋外で使う

屋外では、別売りのバッテリーや、自動車の電源でお使いになれます。

別売り機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

バッテリー 再生時間

NP-F530	約50 (45) 分
NP-F730	約110 (95) 分
NP-F930	約165 (150) 分
NP-510	約45 (40) 分
NP-710	約105 (90) 分

() 内は実用充電してから、それ以外は満充電してから使用したときの時間です。

バッテリーを取り付けた後はバッテリーをつかんで本機を持ち運ばないでください。

InfoLITHIUM (インフォリチウム) バッテリーとは

“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー対応です。“インフォリチウム”バッテリーには**InfoLITHIUM**マークがついています。InfoLITHIUM (インフォリチウム) はソニー株式会社の商標です。

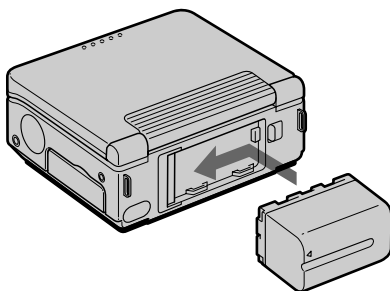
バッテリー残量時間表示について

“インフォリチウム”バッテリーをお使いのときは、あと何分連続で使えるかを液晶画面に表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。バッテリーが寿命のときはメッセージが出ます。液晶画面を閉じたときは、開いてから正しい残量時間(分)を表示するのに約1分かかります。

バッテリーで使う

バッテリーNP-F930など(別売り)をお使いになれます。

バッテリーは確実に取り付けてください。

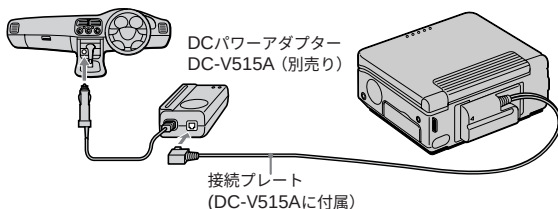


バッテリーを取りはずす

バッテリー取りはずしボタンを押しながら、右にずらす。

自動車内で使う

シガレットライターソケットへ



接続プレートを取りはずす

バッテリー取りはずしツマミを押しながら、右にずらす。

使えるビデオカセットと記録・再生方式

本機ではHi8（ハイエイト）テープ**Hi8**とスタンダード8ミリテープ**8**が使えます。

Hi8（ハイエイト）テープ：

自動でHi8方式の録画→再生

スタンダード8ミリテープ：

自動でスタンダード方式の録画→再生

他のビデオデッキやビデオカメラレコーダーで録画したテープを本機で再生するときは、録画方式を自動で判別します。

Hi8方式：従来のスタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。

Hi8方式で録画すると、Hi8方式対応でないビデオでは正常に再生できません。

音声多重放送テープを再生するとき

AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声放送を記録したテープを再生するときは、メニューの「バイリンガル」を設定してください（8ページ）。

本機では二重音声放送は記録できません。

その他

ご注意

- 次の場合、音声はモノラルです。
 - 本機のAFM Hi-Fiステレオ方式で記録したテープをモノラル方式の8ミリビデオで再生する場合。
 - モノラル方式の8ミリビデオで記録したテープを本機で再生する場合。
- 他のビデオデッキでPCM録音やアフレコした音声は、本機では再生できません。

”インフォリチウム”バッテリーをご利用いただくために

バッテリー残量はこうして計算される

ビデオカセットレコーダー使用時の消費電力は、その使用状況に合わせて変化します。つまり、使用状況によってバッテリーの消費量は異なるということです。

”インフォリチウム”バッテリーは、ビデオカセットレコーダーの使用状況を確認しながら、その消費電力を測り、電池残量を計算しています。そのため、使用状況の変化によっては、残量表示が一度に2分以上減ったり、増えたりすることがあります。

残量時間が5～10分と表示されているときでも、使用環境によっては液晶画面に  が点滅することがあります。

より正しいバッテリー残量を得るには

一度バッテリーを使いきってから再度満充電してください。ただし、高温／低温での長時間使用や、何度も充電を繰り返したバッテリーは、満充電をしても正しい表示に戻らないことがあります。

取扱説明書に記載されている連続再生時間と残量表示が異なる理由

再生時間は、周囲の温度や環境などにより変化し、低温下で使用すると再生時間は特に短くなります。取扱説明書に記載の連続再生時間は、満充電*1（または実用充電*2）したバッテリーを摂氏25度の環境下で使用したときの値です。実際の使用では、周囲の温度や環境が異なるため、残量時間が取扱説明書に記載の連続再生時間とは異なってくる、というわけです。

*1 満充電

ACパワーアダプターの充電ランプが消えてから、約1時間続けて充電したときの状態

*2 実用充電

ACパワーアダプターの充電ランプが消灯するまで充電したときの状態

各部のなまえ

使いかたの説明は、() 内のページにあります。

●録画ボタンとランプ (13ページ)

画面表示ボタン (6ページ)

カウンターリセットボタン
(6ページ)

カセット入れ
(5ページ)

電源ランプ (6ページ)

リモコン受光部 (7ページ)

▶▶スローボタン
(7ページ)

⏏一時停止ボタン
(7ページ)

▶再生ボタン
(6ページ)

▶▶早送りボタン
(7ページ)

□停止ボタン
(7ページ)

◀◀巻戻しボタン
(7ページ)

スピーカー

ヘッドホン 〇 端子 (7ページ)
ヘッドホンを使うときはステレオミニジャックのものをお使いください。

その他

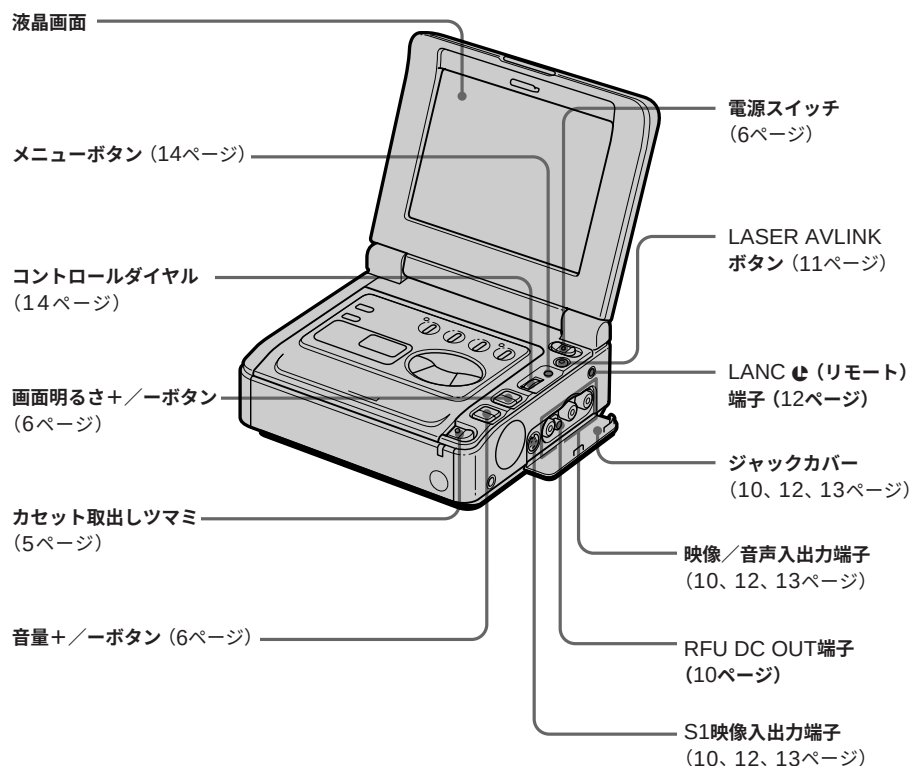
この純正マークは、ソニー (株) のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表わすマークです。



純正マーク

ソニー (株) のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

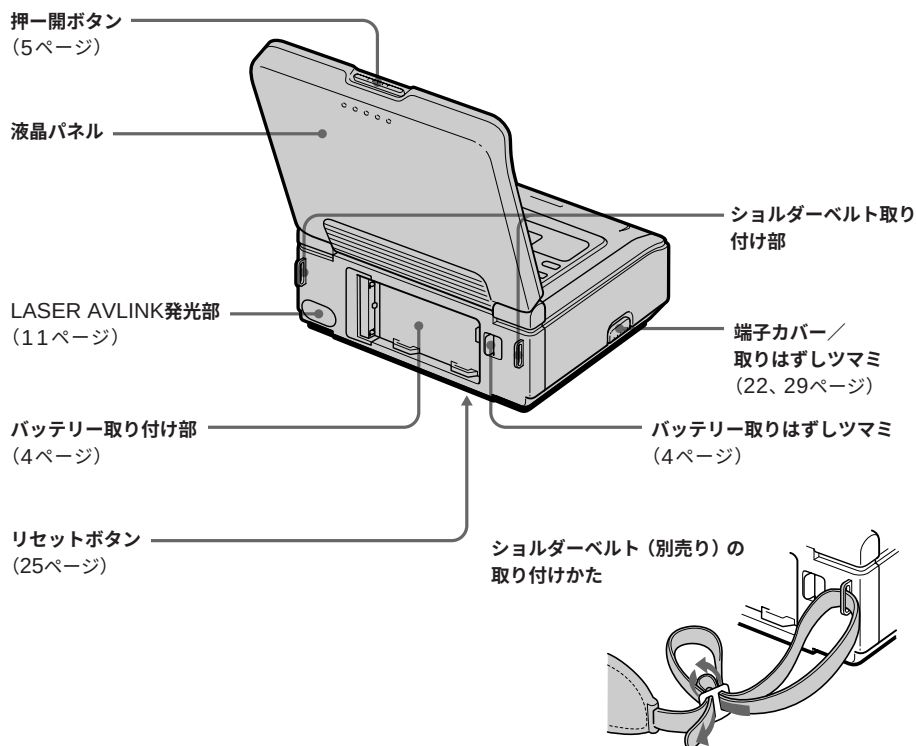
各部のなまえ (つづき) 使いかたの説明は、() 内のページにあります。



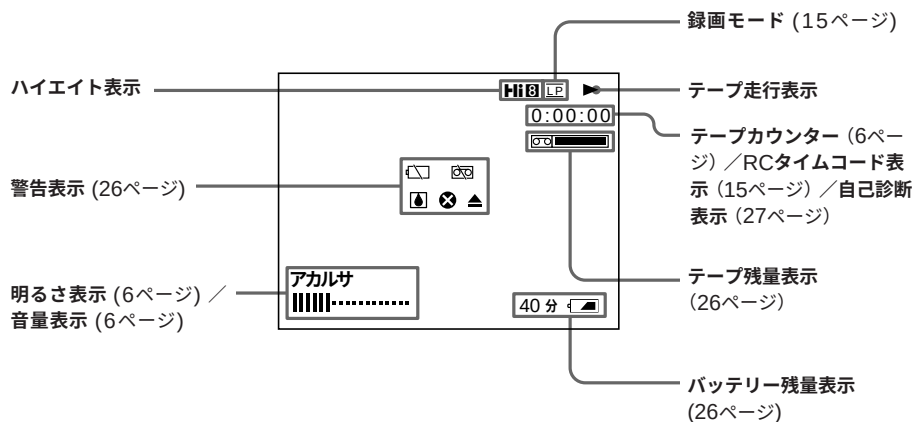
LANC (リモート) マークについて

☛は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

端子カバーの取りはずしかた
別売りのテレビチューナーユニットやビデオ/コンピューターインターフェースを本機に取り付けるときは、端子カバー取りはずしツマミを上にながら、端子カバーをはずします。テレビチューナーユニットやビデオ/コンピューターインターフェースを使い終わったら、端子カバーを取り付けてください。



液晶画面の表示



故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、お客様ご相談センター、またはGV-A700テクニカルインフォメーションセンター（保証

期間のみ）にお問い合わせください。

液晶画面に「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。27ページをご覧ください。

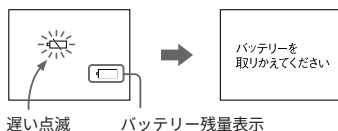
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
テープ走行ボタンが働かない	• 電源スイッチが「入」になっていない。	• 「入」にする。	6
	• テープが終わりになっている。	• テープを巻き戻す。	7
録画できない	• テープが終わりになっている。	• 巻き戻すか、新しいテープを入れる。	7
	• カセットが誤消去防止状態になっている。	• そのテープで録画するなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。	5
	• テープがヘッドドラムに貼りついている（結露）。	• カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	28
画像がぼけたり、映らなかつたりする	• メニューの「エディット」が「入」になっている。	• 「切」にする。	14
	• ビデオヘッドが汚れている。	• 別売りのクリーニングカセットできれいにする。	28
音声が小さいまたは聞こえない	• メニューの「バイリンガル」を「サブ」にしてステレオで記録されたテープを再生している。	• 「バイリンガル」を「切」にする。	8
	• 音量を最小にしている。	• 音量を大きくする。	6
画像が上下にゆれる	• メニューの「TBC」を「入」にしてゲーム機の画像を録画したテープを再生している。	• 「TBC」を「切」にする。	14
	• メニューの「TBC」を「入」にしてダビングを繰り返したなど記録状況の悪いテープを再生している。	• 「TBC」を「切」にする。	14

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを「入」にしても動作しない	ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	コンセントに差し込む。	4
	バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。	充電されたバッテリーを入れる。	18
バッテリーの消耗が早い	温度が極端に低いところで使っている。	—	—
	充電が不十分。	十分に充電する。	18
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	18
カセットが取り出せない	電源（ACパワーアダプターやバッテリー）がはずれている。	電源をきちんと接続する。	4, 18
	バッテリーが消耗している。	充電されたバッテリーを取り付ける。	18
■や▲が点滅し、カセットの取り出し以外できない	結露	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	28
電源が入っているのに操作できない	—	ACパワーアダプターまたはバッテリーを取りはずし、約1分後再びACパワーアダプターまたはバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも操作できないときは本体底面のリセットボタンを先のどがったもので押す。（この操作をするとすべての設定が解除されます。）	—

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面には、次のような表示またはお知らせメッセージが出ます。詳しい説明は、() 内のページにあります。♪はおしらせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量



バッテリー残量表示について

“インフォリチウム”バッテリーをお使いのときは分表示も出ます。



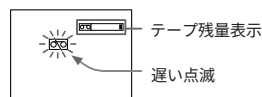
残量表示が□になると⚡マークが点滅する。

バッテリーの寿命

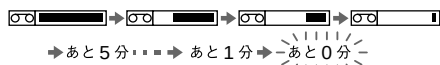
“インフォリチウム”バッテリーをお使いのときのみ表示が出ます。

このバッテリーは古くなりました
取りかえてください

テープ残量



テープ残量表示について



分表示は録画中のみ出る。残量表示が「あと5分」になると⚡マークが点滅する。

♪テープの終わり

録画中のみ出ます。

テープが
終わっています

♪カセットが入っていない

録画 ボタンを押したときのみ出ます。

カセットを
入れてください

♪カセット誤消去防止 (5ページ)

カセットの
誤消去防止ツマミを
確認してください

カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

♪ダビングできない (13ページ)

著作権保護のための信号が記録されている画像を本機で録画しようとしたとき出ます。

ダビングプロテクト
されています
録画できません

ヘッド汚れ (28ページ)



クリーニングカセットできれいにする。

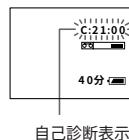
♪結露 (28ページ)



テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

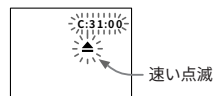
自己診断表示機能が働いている (27ページ)

本機が正しく動作していないとき、自己診断表示機能で本機の状態をお知らせしています。「C:□□:□□」のような表示画になったら、27ページをご覧ください。



♪その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。



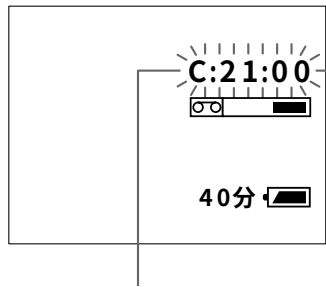
自己診断表示—アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、液晶画面にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧ください。各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面



自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
ソニーサービス窓口にご相談していた
く状態

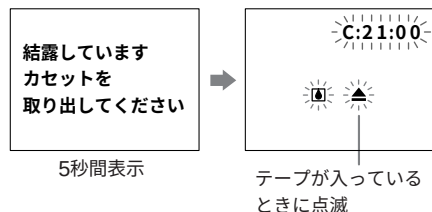
その他

表示	原因	対応のしかた	参照ページ
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	28
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	28
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	- カセットを入れ直し、再度操作し直す。 - 電源を一度取りはずし、取り付け直してから再度操作し直す。	—
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	—

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起これば、液晶画面に下のように警告表示が出ます。



結露が起きたときは

カセットは直ちに取出してください。警告表示が出ている間は、カセット取出し以外できません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてテープ走行ボタンを押しても▲が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLHを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「▲ クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像



初期



末期

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1年近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。

充電式ボタン電池が充電されていない場合でも本機はお使いになれます。

充電方法

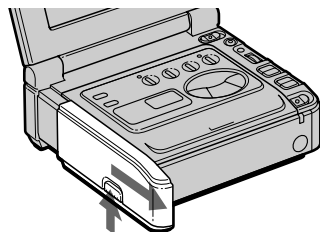
本機を別売りのACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切」にして24時間以上放置する。

本機を廃棄するときは

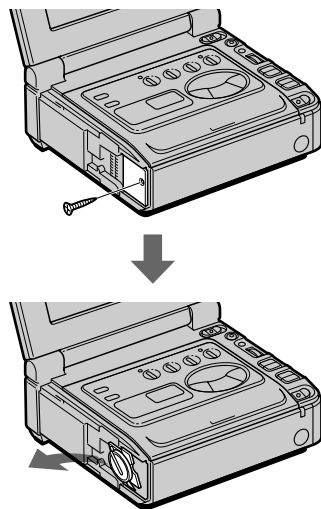
環境保護のため充電式ボタン電池を取りはずし、適宜処理してください。

① 液晶パネルを開く。

② 端子カバーを取りはずす。



③ +ドライバーでカバーをはずし、充電式ボタン電池を取り出す。



その他

主な仕様

システム

録画方式	回転4ヘッドヘリカルスキャ FM方式
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセット テープ
録画/再生時間	SPモード：2時間 LPモード：4時間 (E6/P6-120 使用時)
早送り、巻き戻し時間	約6分 (E6/P6-120使用時)

入・出力端子

S映像端子	入力/出力自動切り換え 4ピンミニDIN (1) 輝度信号：1 Vp-p、75Ω不平衡 色信号：0.286 Vp-p、75Ω不 均衡
映像端子	入力/出力自動切り換え ピンジャック (1) 75 Ω不平衡
音声端子	入力/出力自動切り換え ピンジャック (L、R) 入力時：327mV、 インピーダンス47kΩ以上 出力時：327mV (47kΩ負荷時) インピーダンス1kΩ以下
RFU DC OUT端子	特殊ミニジャックDC5V
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック (Ø 3.5)
LANC端子	ステレオミニミニジャック (Ø 2.5)

液晶画面

画面サイズ	5.5型
有効画面領域	109 mm×81 mm (幅×高さ)
使用液晶パネル	TFT (薄膜トランジスタアクティ ブマトリクス) 駆動
総ドット数	224,640ドット 横960×縦234

LASER AVLINK

映像/音声	IR空間伝送EIAJ*準拠
音声キャリア	L ch：4.3MHz R ch：4.8MHz

電源部、その他

電源電圧	8.4 V (ACアダプター) 7.2 V (バッテリー)
消費電力	8.9 W LASER AVLINK使用による再 生時：8.2 W
動作温度	0 °C～+40 °C
保存温度	-20 °C～+60 °C
最大外形寸法	148×62×135 mm (幅×高さ×奥行き)
本体質量	約1kg (テープ含まず)
使用時総質量	約1kg (テープE6-120HMP1含む)
スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	AV接続ケーブル (1) S映像接続ケーブル (1) 取扱説明書 (1) 取扱説明書 (安全のために) (1) 保証書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*EIAJ (日本電子機械工業会) 規格

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません

万一、ビデオカセットレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このビデオカセットレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障がどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、また添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、GV-A700テクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はビデオカセットレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

その他

海外で使うとき

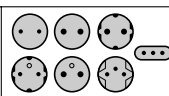
本機は外国でもお使いになれます

別売りのACパワーアダプターAC-V615Aは、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像をテレビで見るとは、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米、南米など	 主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	不要です。 ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- ・アメリカ合衆国
 - ・エクアドル
 - ・エルサルバドル
 - ・カナダ
 - ・キューバ
 - ・グアテマラ
 - ・グアム
 - ・コスタリカ
 - ・コロンビア
 - ・スリナム
 - ・セントルシア
 - ・大韓民国
 - ・台湾
 - ・チリ
 - ・ドミニカ
 - ・トリニダードトバゴ
 - ・ニカラグア
 - ・ハイチ
 - ・パナマ
 - ・バミューダ
 - ・バルバドス
 - ・フィリピン
 - ・フェルトリコ
 - ・ベネズエラ
 - ・ペルー
 - ・米領サモア
 - ・ボリビア
 - ・ホンジュラス
 - ・ミクロネシア
 - ・ミャンマー
 - ・メキシコ
- (NHK文研月報による)

索引

ア行

明るさ調節	6
“インフォリチウム” バッテリー	18、20
おしらせブザー	16
お知らせメッセージ	26
お手入れ	28
音声多重テープ	8
音量調節	6

カ行

海外で使うとき	31
カウンター	6
カセットの入れかた	5
画面表示	6
カラーテレビ方式	31
記録・再生方式	19
クリスタルスチル	7
クリスタルスロー	7
クリスタルピクチャーサーチ	7
警告表示	26
結露	28
故障かな？と思ったら	24
誤消去防止ツマミ	5

サ行

再生	6
自己診断表示	27
実用充電	20
充電式ボタン電池	29
静止画	7
赤外線送信	11
接続（テレビで見るとき）	10
（編集のとき）	12、13

タ行

ダビング編集	12
使えるビデオカセットテープ	19
テープ残量表示	26
テープの終わり表示	26
テレビで見る	10
電源（家庭用コンセント）	4
（自動車の電源）	18
（バッテリー）	18

ハ行

バッテリー	18
バッテリー残量表示	26
ヘッド	28
ヘッドホン	7
ヘッド汚れ表示	26
編集	12

マ行

満充電	20
メニュー	14

ラ行

リセットボタン	25
リモコン	7
録画モード	15

アルファベット順

ACパワーアダプター	4
AV接続ケーブル . 10、12、13	
Hi8方式	19
LANC [®] 端子	22
LASER AVLINK	11
NTSC方式	31
S映像入出力端子 10、12、13	

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

● ナビダイヤル

（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は ...

● Fax



0570-00-3311

03-5448-3311

0466-31-2595

受付時間：

月～金

9:00～

20:00、

土・日・祝日

9:00～

17:00

保証期間中の故障に関するお問い合わせは

GV-A700

テクニカルインフォメーションセンターへ

0120-86-4021（フリーダイヤル）

ご相談になるときは次のことをお知らせください

● 型名： GV-A700

● 故障の状態：できるだけ詳しく

● お買い上げ年月日